

広報



かわにし

平成 3 年 5 / 10 No.393

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

—5月1日現在—

男 4,455 (-5)

女 4,471 (-15)

計 8,926 (-20)

世帯数 2,224 (+6)

()は前月比較



「うまい！」

おらが町のコシヒカリ

—4月17日 橘小学校—

町内の各小学校、中学校、幼稚園で、地元コシヒカリを使ったコシヒカリ給食が試食されました。

1,077人の児童・生徒を対象にアンケートをまとめた結果、58.1%にあたる626人が、『とてもおいしい』と答えています。

ここ、橘小学校では、「ごはんをいっぱいかなだら甘かった」「ごはんが光っていた」などという感想が聞けました。



休日救急医

5月12日 大坪医院(四日町) ☎57-6100

19日 中条病院(中条) ☎57-3018

26日 池田医院(本町西) ☎52-2581

6月2日 庭野医院(寿町) ☎52-2711

9日 大島医院(川原町) ☎52-2957

16日 中条病院(中条) ☎57-3018

いま、成人 輝くとき

5月3日

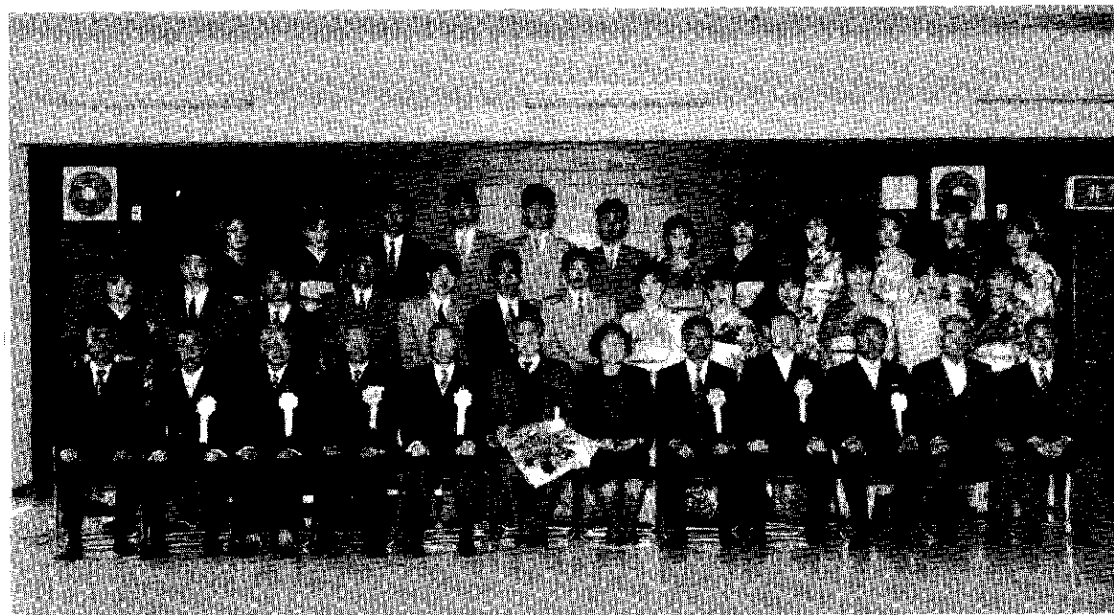


記念講演
『日本人としてあなたは何かができるか』
大和証券情報管理室次長
前上智大学コミュニティカレッジ講師
アーロン・コーヘンさん



上野地区 (敬称略)

上野 内山 容成
見玉 健司
清水 祐一
富井 光幸
大嶋 和子
川崎 綾子
高橋 絵里子
高橋 まゆみ
田口 雅代
富井 佐和子
星 名歌織
金子 和弘
若月 正美
押木 明子
押木 聡子
若月 佐江子
星 名克之
若山 直美
渡辺 実佳
渡辺 友紀子
川崎 貴子
小林 隆弘
清水 靖子
清水 和子
高橋 香織
高橋 千雪
小根岸 恭彦

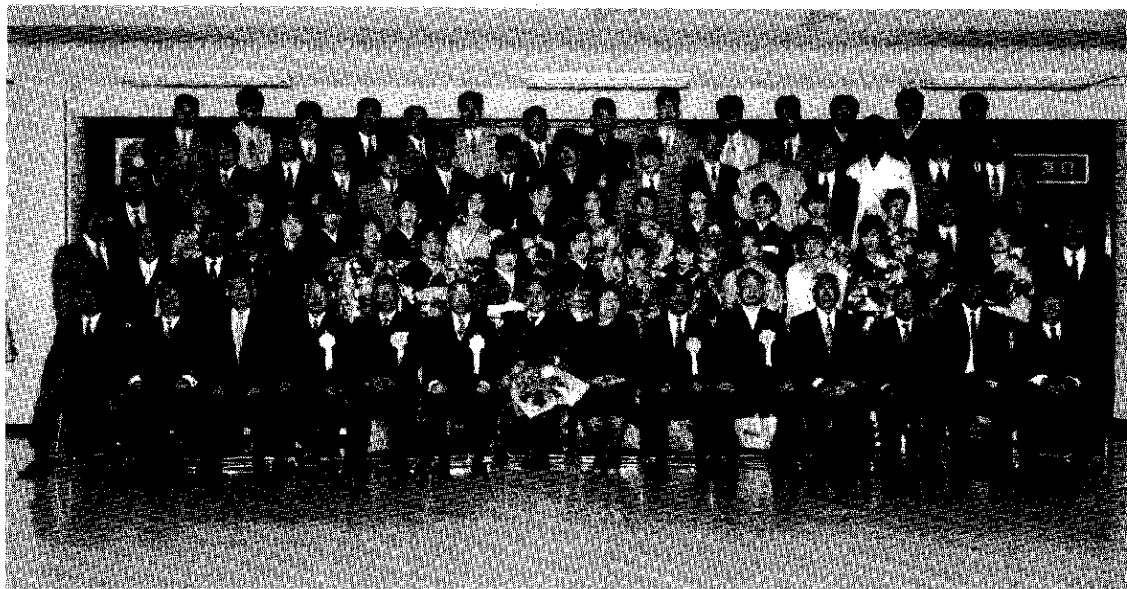


仙田地区

中仙田 小林 勇
小林 修
小林 洋紀
南雲 喜一
南雲 敏也
引間 義彦
小林 三子
南雲 輝美
小林 幸子
米山 和子
半田 洋子
齋藤 貴宏
佐藤 春美
高倉 浩二
高橋 美加
押木 郁夫
押木 恵子
高橋 哲也
小川 信義
中條 聡
登坂 和美
登坂 みよ子
桐生 華子
高橋 千津子
小白倉 智子

ことし、成人を迎えられた方々は、昭和四十五年四月二日から昭和四十六年四月一日までに生まれた男子七十五人、女子七十五人の計百五十人です。そのうち百二十人が成人式に出席しました。

当日は、新潟川西農協の好意により、成人になられた方々にカーネーションが一本ずつ配られ、ホッと心のなごむひと幕も見られました。



千手地区

中島町	阿部秀人	小林義浩	相崎英子	滝沢美香	清水仁	山野田	藤谷奈緒子	藤巻尚仁	樋口貴大	宮本朋英	小川千花	江村栄一郎	高橋光司	渡辺誠	高橋美香	朝日町	高橋美香	南雲昭	東善寺	野上義人	保坂美紀	酒井一豊	吉栗健夫	五十峰夫	柄沢秀樹	高崎弘武	早名康大	山下義徳	貴田ゆかり	長部一希	渡辺邦子	中屋敷
寺尾	大井敏	白井敦	佐藤正則	喜多美子	小林知子	沖立	数藤伸介	数藤学	相崎節子	広田五月	星名祐子	羽鳥博樹	佐藤千枝子	高橋薫	羽鳥明美	星名加代子	星名純子	丸山純司	丸山純子	柳吉栄	茂野美佐子	高橋清朗	中村茂徳	中村靖宏	高橋利枝	高橋美枝	中村明子	中村祐子	蔵品貴紀	渡辺典子	吉条	鶴嶺



橘地区

木落	相馬伸聡	相馬好也	羽鳥尚巳	出口尚巳	和久みどり	藤巻治子	小幡信輔	木村幸	田中隆幸	中川喜彦	秦野明弘	羽鳥敏弘	山口東吾	小幡千晃	春日智子	須藤素子	田中万里子	戸田亜子	秦野純子	山田浩子	五十嵐正光	江口正明	滋野貴章	滋野昭	野沢立也	岩坂恵美	岩野清美	星野千夏	村越代子	村越礼子	丸山佳代子	丸山典子	丸山博幸	丸山義信	丸山和勝	四下歩原
----	------	------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

川西町長選挙 川西町議会議員補欠選挙

投票日は6月16日



明るい選挙を呼びかける活動（2.12.2）

1. 立候補予定者説明会

次の日程で立候補についての届出方法、選挙運動、その他留意事項を説明します。

- ・日時 5月30日 午前10時
- ・場所 地域活性化センター 第一研修室（四階）

2. 投票日

6月16日（日）

投票できる人

今回投票できる人は、次の要

件を満たしている人です。

- ①日本国民であること
- ②年齢が満二十歳に達している人（昭和四十六年六月十七日までに生まれた人）
- ③川西町に住所を有してから三カ月以上経過した人（ことし三月十日以前から引き続き住所を有している人）
- ④選挙違反などで選挙権を停止されていないこと
- ⑤禁治産者でないこと

投票時間は

午前七時～午後六時

時間に遅れないよう、早めに投票しましょう。

投票の方法

町長選挙

投票は記号式で行われます。投票用紙に候補者の氏名が印刷してありますので、投票記載台に備え付けの器具で、投票しようとする候補者氏名の上の「○」をつける欄に、「○」印を押す方法によります。

町議会議員補欠選挙

投票は記名式です。投票しようとする候補者の氏名を一人書いてください。

立候補の届け出は6月11日

午前八時三十分から午後五時の間に、地域活性化センター第一

一研修室（四階）で受け付けます。

開票は総合センターで

開票は即日開票で、午後七時三十分からです。

不在者投票は

6月11日・13日です

選挙の当日、町外にやむを得ない用件や旅行などで滞在中の人などは、不在者投票ができます。

・不在者投票には、印鑑と入場券をお持ちください。

・午前八時三十分から午後五時まで、地域活性化センター第一研修室（四階）で受け付けて

《町長選挙は記号式投票です》

○をつける欄		候補者氏名
氏名	氏名	氏名

います。

3. 明るく正しい選挙

明るい選挙は、「贈らない」「求めない」「受け取らない」の「三不運動」の徹底からです。明るく正しい選挙で、大切な一票を投じましょう。

選挙に関するおたずねは

川西町選挙管理委員会へ

☎六八―三二―（内線56）



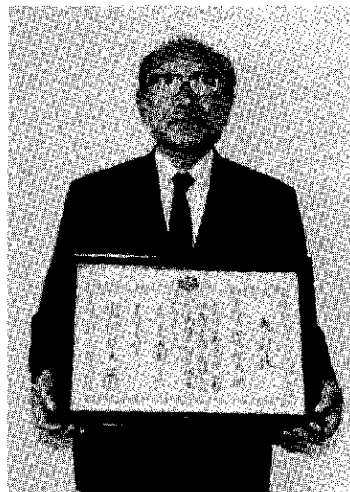
・投票しようと思う候補者一人に○印をつけてください。

・○印のほかは何も書かないでください。

・不在者投票と点字投票は候補者の氏名を一人書いてください。

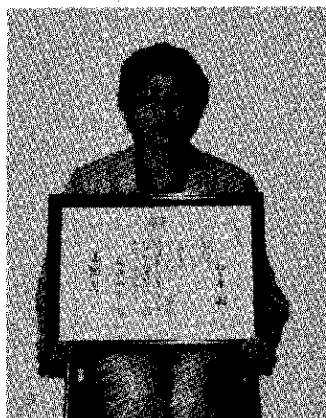
行政相談委員 滋野さん(野口)に 総務庁長官表彰 須藤さん(高原田)を委嘱

滋野さん(野口)に 総務庁長官表彰



三月三十一日付けで、滋野定良さん(64歳)が総務庁長官から表彰されることが決まり、四月十五日、その伝達がありました。

この表彰は、去年十月一日現在で実施された、平成二年国勢調査



表彰を受けた滋野さん

私たちが行政に対する苦情を申し出る際、「身近な窓口」になつてくれるのが「行政相談委員」です。

このたび、相談委員としてご活躍いただいた滋野サダさん(61歳)に、四月二十二日、新潟行政監察事務所長から総務庁長官表彰が伝達されました。

滋野さんには、昭和62年4月から四年間お務めいただきました。

の功績者として贈られたものです。

滋野さんは、昭和三十年から五回調査員を歴任。今回の指導員の職にあつては、統計調査の重要性を認識し、担当地区において確実な調査結果が得られたとして、その功績が認められたものです。

また、滋野さんは、工業統計調査(61年から)5回、商業統計調査(35年、63年、元年)3回、農林業センサス(60年から)2回など、それぞれの統計調査員としても活躍しています。



薬師神所長から委嘱状を受ける須藤さん(右)

また、四月一日から新たに須藤秀雄さん(60歳)が選任されましたので、ご紹介します。

須藤さんは、長い間町職員として勤務され、行政について幅広い見識をもった方です。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

『サヘル人会』ご協力に感謝

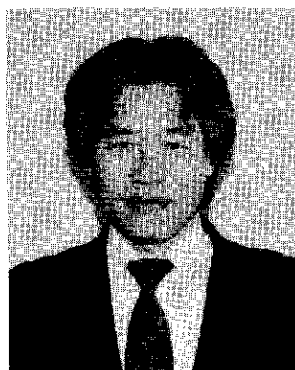
東京都 高橋 一馬さん(三領出身)

アフリカ・サハラ砂漠の南緑部に、サヘル地帯と呼ばれる、慢性的飢饉に苦しみ、最も砂漠化の影響を被っている帯状の乾燥地帯があります。

この地で、植林と農業を通じて、砂漠化防止と地域住民の食糧自給を目指そうという趣旨で、昭和六十二年に「サヘルの会」を東京で設立しました。

この活動も三年が経ち、初期に植えた木で、大きいものは七八メートルにまで育ったものもあります。活動地も四ヶ村に拡大しました。

国内でも多くの方々によって支えられ、政府からも少しではあります補助していただき、WEP(国連食糧計画)から二台の四輪駆動車を提供していただき、ようやくNGO(民間の



海外協力を行う団体)としても一人前に認められつつあります。これも、ひとえに皆様方の温かいお力添えあつてのことと感謝致しております。

こうした多くの方々のお力を得て、一応の基礎づくりに励んできました。しかし、「もっと積極的に緑を増やし、内容ももっとダイナミックに展開すべき時に至った」という認識のもとに、去る三月末、「サヘルの会」から離れ、「緑のサヘル」を創設しました。

まず、チャド(アフリカ中央部に位置)を中心として、地域住民とともに農業生産と植林を核とした多角的な活動を行い、住民の生活基盤の安定と福祉の向上、砂漠化防止という受け身の姿勢から、積極的に砂漠の緑化を目指し、環境保全、自然生態系の回復に寄与したいと思っています。

こうした活動を推進するにも、ふるさとの声援ほどありがたいものはございません。今後とも、これまで同様のご高誼を賜りますようお願い申し上げます。

川西八景

写真コンクール



金 賞 高橋さんの撮影した赤谷の大ケヤキ



銀賞 渡辺さんの撮影した二六公園とブナ林

三月十一日締め切った、川西八景写真コンクールに二十一点の応募がありました。
三月二十七日の審査委員会平野正義委員長・構成員五人で審査され、次のように決まりました。

金賞(二点)

・赤谷の大ケヤキ
高橋直人さん(赤谷38歳)

銅賞

・節黒城趾 中条清さん(仁田36歳)ほか四点

銀賞(二点)

・二六公園とブナ林
渡辺照男さん(東善寺67歳)

・信濃川と河岸段丘
吉井正一さん(仁田46歳)

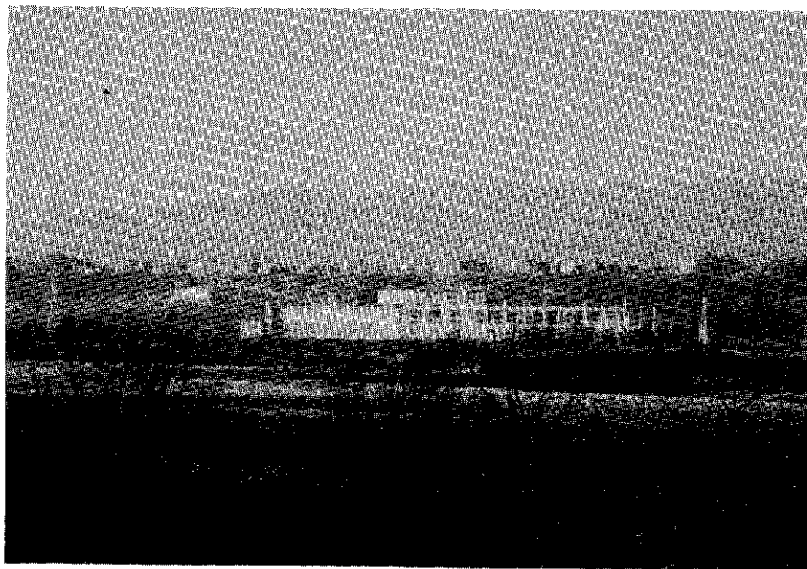
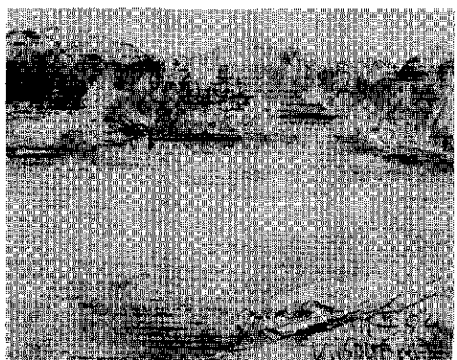
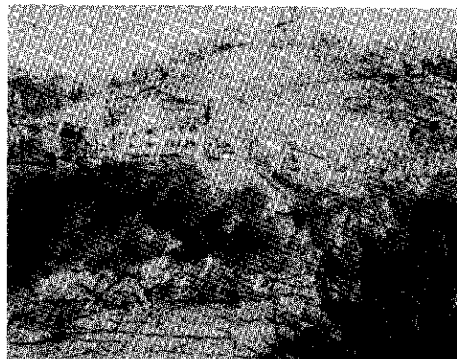
・節黒城趾
小林正夫さん(木島43歳)

努力賞

・節黒城趾 渡辺義布さん(上野63歳)ほか四点

また、五十川庚平さん(学校町)からは、八景の水彩画16点を描いていただきました。

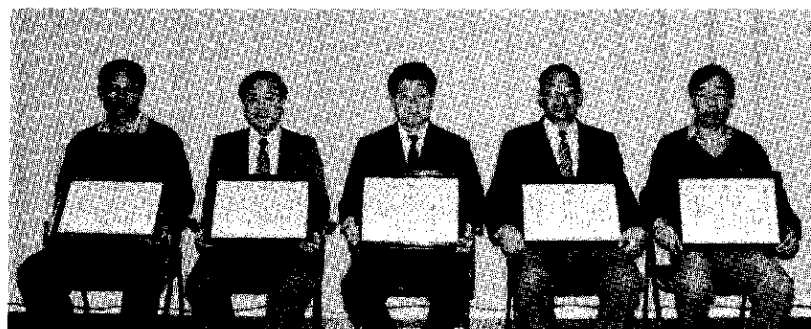
なお、写真と水彩画は総合体育館で展示されており、六月から、克雪センターなどで展示される予定になっています。



銀 賞 吉井さんの撮影した信濃川と河岸段丘



銀 賞 小林さんの撮影した節黒城趾



受賞した皆さん（左から、渡辺さん、北村さん、星名さん、宮さん、相崎さん）

スポーツ少年団指導で ・星名さんら五人が表彰

永年にわたり、スポーツ少年団の指導にあたってこられた五人の方が、このたび、新潟県スポーツ少年団からその功績が認められ、表彰されました。

これらの方々は、町のスポーツ少年団発足と同時に剣道、野球、卓球のそれぞれの単位団で、その組織づくりから情熱を注が

れ今日まで活躍。表彰された方々は次のとおりです。（敬称略）
星名四郎（上野64歳剣道）
宮 啓一（山野田62歳野球）
北村準一（東善寺55歳）
渡辺一治郎（中屋敷52歳卓球）
相崎伊作（田中町46歳）
受賞された方々は、「今後とも一層精進して、さらにお役にたきたい」と話していました。

なお、ことは町のスポーツ少年団に、ドイツから十二人の青少年が訪問の予定です。

これは、第十八回を数える日独スポーツ少年団同時交流によるもので、八月五日から八日まで川西町に滞在し、スポーツ活動を中心として、相互の文化・生活・習慣を実際に体験する国際交流です。メンバーは、十六歳から二十一歳までの地域スポーツ指導者十二人です。

いま、高校生のお子さんなどをお持ちのご家庭で、この四日間ホームメイトとして受け入れてくださる家庭をさがしています。受け入れ可能なご家庭は、総合体育館内町スポーツ少年団までお申し出ください。

ある青年会の記録 ⑭

岩瀬 金子 幸 作

招魂祭に運動会

大正七年(一九一八)四月廿一日、田戸郵便局楼上に於て午前九時ヨリ支部長会議開催、次ノ事項ヲ協議、決定スル。
村境、分レ道、峠ノ道標ヲ書直シ若ハ再建シ、石仏ヲ清掃。
五月八日ノ招魂祭ニ全員参加シ、当日大運動会ヲ開ク。
危険物投入箱ヲ、適當ノ位置ヲ選ビテ五月中ニ設置スル。
郡連合青年団ノ代議員ニ岩瀬ノ中条正福君ヲ充テル。

本団ノ主催ニヨリ、午後一時ヨリ田戸校ニ於テ時局大講演会ヲ開ク。講演上ハ諸橋省三、今村定治ノ二氏、演題ハ「欧州ノ戦争ト我ノ立場一及ビ」戦後ノ対策ニ就テ、盛会ヲ極ム。

諸君は奮起せよ

七月廿一日、郡連合青年大会ヲ十日町校ニ於テ開催、小白倉ヨリ三名出席ス。午前八時、点钟ヲ合図ニ一同入場シテ開会、江川会長オゴソカニ成申詔書ヲ奉読、続ヘテ、「欧州諸国ハ今ヤ国運ヲ賭シテ兵火ヲ交ヒツ

アリ、我々モ近々兵火ノ中ニ投ゼントス、青年ハ国家ノ中堅タレバ、諸君ハ成申詔書ヲ拝聴シ一層奮起セヨ」ト述べラレル。
来賓トシテ臨席ナサレシ渡辺

県知事閣下ハ、「凡ソ青年ノ鋭氣ハ国家ノ熱氣ヲ維持シ、国家ノ發達ヲ期スベク、即チ其國ノ青年ヲ見テ其國ノ将来ヲトスルコトヲ得ベシ。大正ノ青年タル諸君ノ責任ハ重大ナリ、益々奮勵努力セヨ」ト訓示セラル。

青年ノ七訓

郡大会の講師、鉢田村松第三十連隊長殿ハ、「青年ノ七訓」ニ就テ次ノヤウニ演舌ナサル。
身体ヲ鍛錬セヨ、肺病、花柳病、トラホームノ三ツハ亡國病ナレバ衛生思想ノ向上ヲ図レ。

毎朝、早起キヲ励行セヨ、昨今ハ「日ノ出會」流行ノ兆シアリ、大イニ奨励スベシ。

意志ヲ強固ニセヨ、何事モ実行スルニハ意志ノ強固ヲ要ス。

規律ト時間ヲ厳守セヨ、規律ヲ守リ、時間觀念ヲ重視セヨ。

若者ハ着眼ヲ遠大ニセヨ、一家ノ相統者以外ハ海外ニ發展雄

飛スベキ時代ナリ。

智力ノ増進ニ努メヨ、友ヲ選ビ、書物ヲ選ビテ讀書シ、智識ノ向上ニ努ムベシ、益ナキ小説ハ読マザルニ如方ズ。

神仏ヲ拝セヨ、神仏ニ礼拝ヲ為スハ祖先ニ御恩ノ礼ヲ陳ブルモノニシテ古来ノ美風ナリ。

夜学会は花ざかり

徴兵適令者の学力向上をねらい、補修教育の普及、改善が図られた大正時代は、どこの村でも青年夜学会の学習が最盛期をむかえる。大正七年の十日町新聞をめぐると、川西郷では次の夜学会が開かれていた。

千手青年夜学会、千手校で、

講師は和田二郎(修・国・算)

甲乙丙三組で学生二十一名、十二月から二月迄毎夜二時間半。

沖立夜学会、講師は和田二郎

(修・国・算・農)、無報酬、

甲乙二組で十四名、午後七時から三時間学ぶ、千手校で隔夜。

中野夜学会、講師は南雲正策

(読・綴・算)、金山良念、星

名州治(修)、普通科甲乙二組

二十四名、高等科甲組十四名、

毎夜二時間、中野校で学ぶ。

上野夜学会、講師は星名利太

(読・算・理)、尾身了平(球

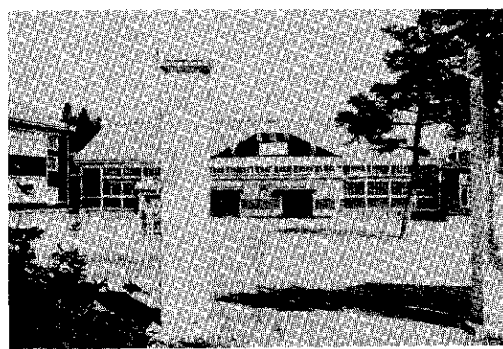
綴)、無報酬、甲乙丙三組で二

十二名、一月十日から三月二十

五日迄、午後七時から二時間。

元町夜学会、講師は田畑六蔵(全科)、無報酬、甲乙丙三組で七名、期日と時間は右同。

新町新田夜学会、講師は丸山



千手小学校の旧木造校舎



上野小学校の旧木造校舎
〔「上野小学校百年の歩み」から転載〕

仲泰、無報酬、三組八名、右同。
田代夜学会、甲乙二組で学生六名、相互ニ共同研究。

仙田は六校を中心に

室島夜学会、仙田校で、講師は小海正平(修・算)、小野塚信平(国)、甲乙二組で二十一名、一月、四月迄毎夜二時間。

高倉夜学会、講師は星野甚治(修・国・算)、甲乙丙三組で十七名、九月から三月迄毎週八時間、教科書は大正青年新読本、高等科算術書。

霧谷夜学会、講師は茂野興吉(国・算)、学生七名、十二月から二月迄、毎夜二時間。

中仙田夜学会、講師は佐野博夫(修・算)、桑原育治郎(国)、学生十一名。

田戸夜学会、講師は石井勝美(国・算・書)、報酬一円、十二月から七月迄毎夜、学生九名。

越ヶ沢夜学会、講師は川崎孝次(読・珠・綴・書)、学生四名、毎夜七時から九時迄。

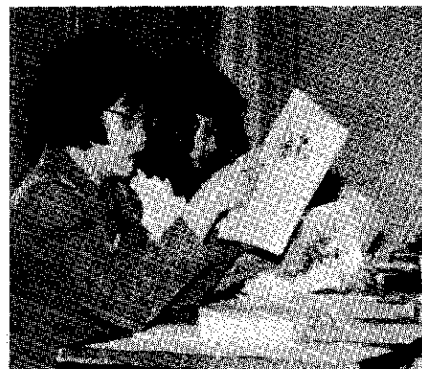
赤岩夜学会、講師は登坂甚平、高橋一郎(修・国・算)、一級八名、甲乙丙組十三名、十二月から三月迄、毎夜、赤岩校で。

白倉夜学会、講師は山本忠作(修・国・算)、学生二十二名。

大貝夜学会、講師は金子高常(修・国・算)、甲乙組十一名。

「日本語教室」を開設 心のふれあいを求める

日本語は大変難しいです



終始、和やかな雰囲気で行われた開講式

四月十五日、総合体育館で「日本語教室」が開講しました。
これは、海外からのお嫁さんが早く日本語になれ、読み書きも覚えてもらおうと町が計画したもので、月二回、年間二十四回が予定されています。
講師には、千手小学校の根津敬一郎さん（上野41歳）が担当してくれます。

現在、町に海外から八人のお嫁さんが嫁いでいます。そして、

六人の方は子宝にも恵まれ、今春、子どもが保育園に入った人もいます。

この教室は、「お嫁さんたちが日本で暮らしやすいように、また、保育園の『園だより』も、小学校に入ったときは『学級通信』も読めるように」と、かねてから要望があったものです。

第一回目は八人全員が出席。それぞれが日本語で自己紹介したあと、まず、「あ、い、う、え、お」と、五十音の練習です。

次に、教材を読む練習です。

「おじさん」「おじいさん」、

「おばさん」「おばあさん」など、読み違いをしそうな言葉、間違えて覚えそうな言葉もありました。「使い方を間違えると、おこられてしまうことがあります。注意しましょう。」と、特に講師から話もありました。参加した人たちの中にも、このような例があったようでした。

参加した人たちからは、「日本語の『が』『は』『を』『に』『も』など、使い方がわからない。『わ』と『は』は同じ発音なので、特に難しい」という率直な意見も出ていました。

第一回目の教室が終わった感想は、「難しい、でも楽しかった」ということでした。

緑はみんなの宝物

緑少団入団式

四月十九日、上野小学校体育館で、上野緑の少年団入団式がありました。

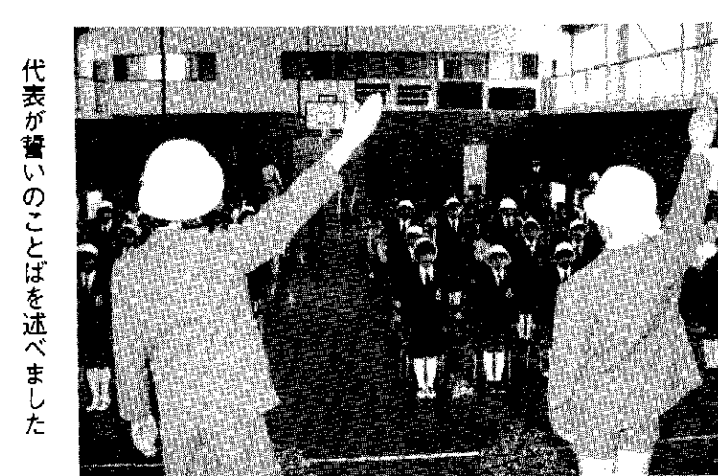
団員は五、六年生全員で構成されており、ことしは、五年生十四人が入団。団員は、三十七人となっています。

上野緑の少年団は昭和五十九年に結成され、以来、八年間に

わたって仲間づくりや自然を守る運動、勤労活動が続けています。

南雲町長から、清水巧緑の少年団長に団旗が手渡され、「緑と友情と勤労をあらわした、この旗のもとに一致団結して励みます」と、決意のほどを示した。

また、六年生の代表が、「活動がいろいろあつて大変だけど、自然を守ることは大切なこと。一緒に緑を育てていきましょう」と歓迎のことばがあり、五年生の代表が、「一つひとつの活動を一生懸命やって、自然とのふれあいを大切に、自然がすばらしいものになるよう頑張ります」と、入団の決意を表した。



代表が誓いのことばを述べました

緑少団は、すでに四月一日からの『緑の羽根募金運動』を実施しており、早くも今年度の『緑を育てる』第一歩を踏み出している。

図書室 だより

中央公民館(総合センター内)
図書室図書の貸し出し

○ 図書の貸し出し時間
月曜日(午前八時三十分から
午後五時まで)
火曜日・日曜日

〔午前八時三十分から
午後十時まで〕
○ 備え付けの貸し出し簿に必
要事項を記入すれば、何冊で
も借りられます。
○ 児童用個人カード所有者は、
カードに記入ください。
※ 無人化ですので、自覚ある
利用をお願いします。

寄贈図書のお礼

平成二年度にご寄贈いただいた
図書は、一般書五八五冊、児
童書二二三冊、計八〇八冊に及
びました。なかには、世界文学
全集や、世界幼年名作全集など、
そろったものもありました。
ご寄贈いただいた方々のご芳
名を掲載して、お礼にかえさせ
ていただきます。

○五十川庚平様 ○保坂久代様
○丸山すみ子様 ○農協婦人部
様 ○金子節子様 ○長崎一男
様 ○県立新潟図書館様 ○東
北電力様 ○赤泊村様 ○小
さな親切運動本部様 ○匿名様
ご家庭に眠っている本や、読
み古した本で、お役に立つ本が
ありましたらご連絡ください。

善意

広報発行に

(敬称略)

中川 弘 (相模原市) 5千円
上村 忠男 (横浜市) 2万円

自動車税の時期です



納期限 平成3年5月31日(金)
自動車税のご相談は十日町財務事務所収税課
☎ 57-5513

ちいさな展覧会

仙田小学校

34

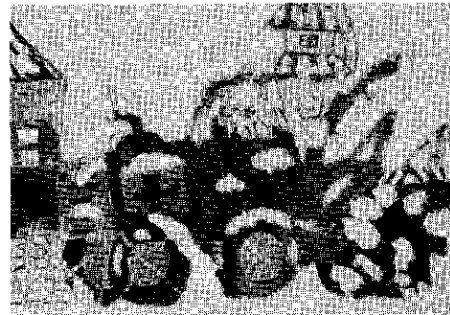
4年 登坂幸雄 君



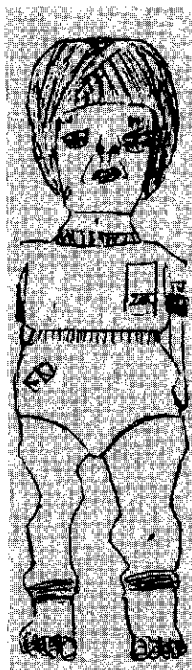
1年 高橋大輔 君



5年 小林達也 君

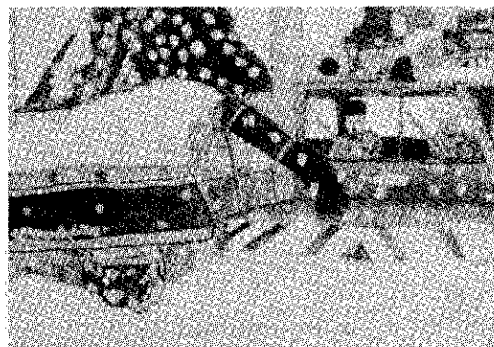


2年 高橋杏里 さん

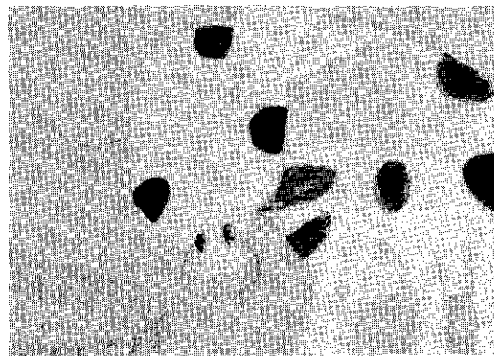


(6月号は白倉
小学校です)

5年 小林理恵 さん



3年 庭野 哲 君

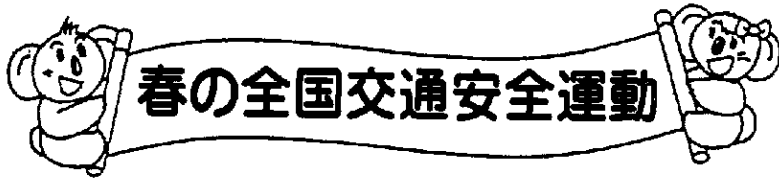


6年 南雲洋平 君



6年 高橋智美 さん



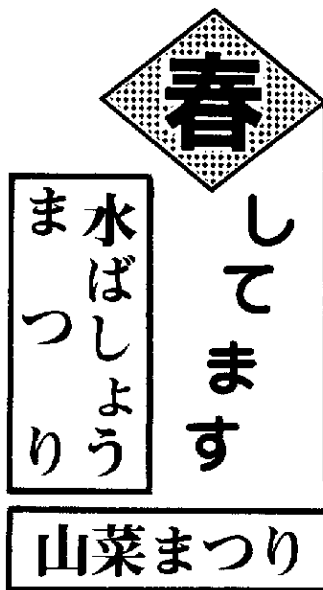


春の全国交通安全運動

5月11日(土)～20日(月)

——シートベルト しめて安全 春の道——

四月二十一日、野口水ばしう群生地で、水ばしうまつりがありました。
これは、野口水ばしう保存会(村越勝蔵会長)が毎年実施しているもので、すでに十五年ほど続いています。
当日は、日曜でボカボカ陽気とあって、およそ三百人が繰り出し、六、七分咲きになった水ばしうを観賞しました。



現在、ここには、およそ一万二千株の水ばしうが群生しています。しかし、群生場所が狭くなっていること、観賞する足場が悪いことから、保存会では、「施設を整備をして、もっと皆さんに親しんでもらえる場所にしたい」と話して



春の日差しに誘われて多くの人が集まった、水ばしうまつり



春の味を満喫した山菜まつり

いました。
また、「高倉ブナの家」では、恒例となった山菜まつりが開か

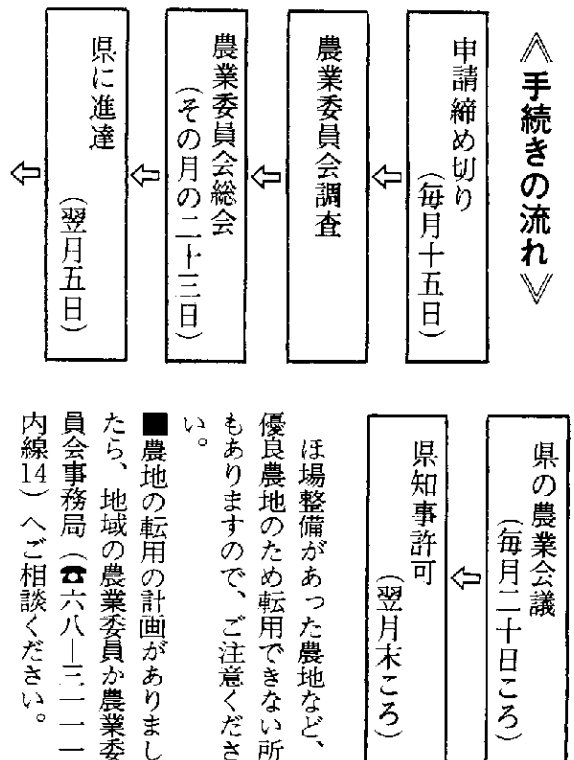
れ、およそ百人が、ウルイ、ゴミ、キノメなど、七種類の山菜料理に舌鼓をうちました。

農地は、農家の財産というだけでなく、食糧を安定して供給する場であり、地域社会・経済の発展のための大切な資源でもあります。それだけに、農地は地域の実情に合わせて計画的に利用されなければなりません。農地法では、転用に当たって

農地の転用には 許可が必要です

厳しい制限を設け、農林水産大臣、県知事の許可を義務付けています。
許可を受けないで転用したり、転用のために売買したりすることは農地法違反になり、悪質な場合は罰則が課せられます。転用に当たっては、必ず許可

を受けてください。
農地の転用とは
田畑を建物敷地、資材置き場、取り付け道路、山林など、農地以外の用途に変更することです。土捨て場、飯場などのため一時的に転用すること含まれます。
許可までの手続き
農業委員会に申請してから許可までに、最低一カ月半かかりますので、その期間を見越して申請してください。



戸籍の窓から

たかさご——円満に

高橋 昇三 領
滝沢 幸子 小千谷市から
片桐 司 小白倉
五十嵐 裕子 野口から
小海 潔 上野
千原 照世 十日町市から



かわい
仲間

太田白南風選

○水仙の道真直ぐに抜けてきし

霜条 星名 星光
○盃に舞う花一つ浮くことも

岩瀬 小川 益栄
○下萌の地をしかと踏み退院す

小白倉 江口みゆき
○初燕来ると日記に書きとめし

野口 野沢 寅生
○郭公に大山静かに昏れゆけり

伊勢原市 金子 桂吉
車座に花見の客のにぎやかに

岩瀬 登坂伊智子
霊峰の裾野のひろき春霞

大倉 中条 石平
園児らの声のはしりて草萌ゆる

中島町 相沢 鈴江
陽炎に三山遠くゆがみなり

上野 内山 寛平

小林 寅一 中仙田
川崎 由美 木島から

柳 押木 正 元町
柳 百合子 十日町市から

昇天——ごめい福を祈る

蔵品リヤウ78(泰治) 霜条
門脇 賢光88(慶淳) 伊友
清水 明38(本人) 上野
野上チユノ70(茂吉) 田中
木村 利雄75(本人) 塩辛

越後路の観音巡り花の旅

仁田 小幡しん女
峰々の緑ましゆくぶな若葉

小白倉 田中 優美
菓一本嘴にさげ燕来る

八王子市 松浦 サク
職を退き時も忘れて長閑なり

山野田 藤田ひろ志
畦もとに蛙の卵水温む

高倉 斎木 和人
都庁舎が目標となりメーデー行く

練馬区 須藤 遊人
対岸の霞棚引き町失せぬ

上野 星名 春子
春耕の野のエンジンの高々と

木落 丸山 詩朗
木蓮の散りつぐ花に雲流る

足立区 駒形 頼太
障子貼り終えて佳き事ある如し

元町 金子 鉄平
ふるさとの草餅想い畦想う

八王子市 田中 ひさ
石垣に溢るゝ色の芝桜

発電所通り 小川 京子
朝露のしたゝる牡丹切りにけり

三領 高橋たかし

うぶ声——おすこやかに

田中穂奈美 亮一 長女 中島町
田中穂奈美 亜矢子

数藤 貢義 子 三男 沖立
数藤 靖子

茂野 俊文 男 長男 高原田
茂野 晴美

山口 翔太 武夫 長男 仁田
山口 富美子

春昼の畦にうたゝ寝してひとり

上町 高橋 願似
散る花を追かけ遊ぶ園児かな

浦和市 登坂 博史
花冷の仏間にこもり経を読む

上野 渡辺 朝
雪消えの田の面に映る夕明り

上野 入沢 はや
ふくいくと沈丁かおり朝の路地

四郎兼 平野 恵春
春光に向つて二輪とばしけり

赤谷 登坂 醉月
雪解露日毎棚引き木の芽ふく

新町 井川 亘
四国路の旅に誘われ浅き春

野口 村越 幸
先生にあげると土筆摘んでをり

野口 野沢 静江
蛙田の杖音消して畦わたる

中屋敷 数藤 杜一
飾られて初めて見るや水ばしう

厚木市 川崎 保一
雲一つなき大空の五月晴

中仙田 小林 一則
雪囲いとれし庭木の枝ひろげ

発電所通り 春日 ぶん

ことしも実施します

健康づくり大会

—ふるさと広場を会場に—

新年度がスタートし、各種の事業が活発に展開されています。保健衛生関係では、様々な検診活動のほか、さらに予防面に力を入れた、いわゆる健康づくり運動も、一層強力に推し進めることになりました。

そんな中で、国の補助を受け、健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会は、健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。

健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。

健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。



健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。健康づくり大会の開催が実現しています。

くしけんこ